

第 32 回防災文化講演会「国内外の災害ミュージアムの現在」を開催しました (2019/11/16)

テーマ：国内外の災害ミュージアムの現在

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/organization/kesenuma/kouenkai.html>

11月16日(土)に、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館研修室 A/B にて、第32回防災文化講演会(主催：東北大学災害科学国際研究所、共催：気仙沼市)を開催しました。当研究所は平成25年7月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、気仙沼分室を気仙沼市内に設置して、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでいます。その活動の一環として、防災に関する講演会を年に数回開催しています。

第32回を迎えた今回は、「国内外の災害ミュージアムの現在」をテーマに2つの講演を行いました。まず、国立民族学博物館の林勲男教授から①「災害を伝える:ミュージアムと災害の記憶・記録」と題して講演いただき、次に当研究所の小野裕一教授(情報管理・社会連携部門)から②「世界にある『津波博物館』から」と題して講演を行いました。講演後には、当研究所のマリ・エリザベス 准教授(情報管理・社会連携部門)がコーディネーターを務め、全体討論を行いました。全体進行は、佐藤翔輔 准教授(人間・社会対応研究部門)がつかとめました。

29名の方にご参加いただき、盛会のうちに終わりました。



講演①：国立民族学博物館・林勲男教授



講演②：小野裕一教授



全体討論：マリ・エリザベス准教授



会場の様子

文責：江畑由紀(気仙沼分室スタッフ)

佐藤翔輔(所内担当教員、人間・社会対応研究部門)